

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業	28年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 企画担当課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	愛知県内3港連携の推進			連絡先	052-654-7906	
目的	対象(誰・何を)	愛知県内3港(名古屋港、衣浦港、三河港)			事業期間	平成29年～
	意図(どういう状態にしたいか)	関係者と連携して、サプライチェーン全体の生産性向上を目指し、3港の連携等による港湾物流機能の強化に取り組むことにより、背後地域のものづくり産業の国際競争力強化を図っていきます。				
概要	愛知県と共に、県内3港が目指す方向性を「愛知県港湾物流ビジョン」としてとりまとめ、サプライチェーンを強くする港湾物流機能の強化施策を進めていきます。				根拠法令等	
29年度の実施予定	パブリックコメントや学識者・港湾物流関係企業へのヒアリングを実施し、年度内に「愛知県港湾物流ビジョン」策定を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

29年度に実施した内容・結果	パブリックコメントを実施した後、学識者・港湾物流関係者へのヒアリングを踏まえ、愛知県港湾物流ビジョンを策定し公表しました。					
コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	-	-	0	0	
人件費	千円	-	-	3,492	3,492	
合計	千円	-	-	3,492	3,492	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
3港の港湾物流機能強化(工程) (進行管理型)	目標	-	-	1		2	①愛知県と共に、県内3港が目指す方向性を「愛知県港湾物流ビジョン」として策定・公表 ②3港連携推進のため、関係者による会議の開催		
	実績	-	-	1					
	事業進捗状況(29年度)			順調 やや遅れ・遅れ					
	目標	-	-						
	実績	-	-						
	事業進捗状況(29年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	パブリックコメントや学識者・港湾物流関係企業へのヒアリングを実施し、今年度に「愛知県港湾物流ビジョン」策定・公表を行いました。								
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明							
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	県内のものづくり産業の競争力強化のためには、広範囲にわたるサプライチェーン全体の生産性の向上を図る必要があるため、愛知県内の港湾管理者である愛知県と本組合が行うものです。						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	港湾機能強化、道路のネットワーク強化を推進していくことで、輸送コストの削減やリードタイム短縮などが図られ、国際・国内海上輸送機能の強化に貢献するものと考えております。ビジョンを策定することにより、県内3港が取り組むべき方向性がまとめられ、期待通りの成果が得られています。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	愛知県内3港連携の施策について、愛知県と共に協力しながら効率的に取り組んでいます。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	30年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	3港の連携等による港湾物流機能の強化施策を推進する必要があるため。
取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題		30年度以降の取組	
背後産業の国際競争力強化に向けた取組について、関係者と調整していく必要があります。		愛知県港湾物流ビジョンをポートセールス等で活用し、3港の連携等による港湾物流機能の強化の有用性をPRするとともに、サプライチェーンを強くする港湾物流機能強化に向けて取り組んでいきます。	